

<認定団体の概要（令和7年度認定8団体）>

所在市町	認定番号	団体名	所在地	設立年月日 (活動開始)	活動概要
小山町	R7-01-080	静岡おやま案内人 「四季の旅人」	駿東郡小山町用沢	H12.3.27 (H12.4.1)	小山町全域で観光案内や施設案内を行うほか、富士山須走口五合目にある幻の滝や小富士でのハイキングガイドも実施している。また、観光協会が主催するイベントの支援を行うほか、「県民の日」や「富士山の日」に合わせたイベントの開催も手掛けている。豊門会館の解説は定評があり、昨年10月には富士紡の役員、11月には東京のジャパントラベル関係者を案内し、好評を得た。
沼津市	R7-02-081	高尾山古墳を守る会	沼津市沼北町	H28.6.19	古墳が取壊される危機に直面していたが、市民講座や署名活動を通じて、取壊しは撤回され、道路建設と古墳保存の両立が実現した。研修旅行での史跡見学や古墳の草刈りによる維持管理、講演会や体験教室、学校での学習支援を実施している。さらに、古墳便りやSNSを活用した情報発信、街頭啓発活動、行政との交渉などを通じて、地域文化の保全と教育支援に取り組んでいる。
富士宮市	R7-03-082	富士宮市郷土史同好会	富士宮市杉田	S59.7.20	富士宮市の歴史や文化を定期的なフィールドワークを通じて調査・研究し、その成果は、毎年一回発行している会誌「月の輪」（令和6年度で40号を達成）や講演会で発表している。また、2020年度から石造物部会と方言部会を設置し、活動の幅を広げている。
富士宮市	R7-04-083	富士宮市地域女性連絡会	富士宮市杉田	S61.5.9	40年前から生涯学習の一環として、富士宮市の歴史や伝統、民話を題材にした紙芝居作りに取り組み、小中学校や福祉施設などで上演。女性連絡会が作成した「天に近き富士の山」や「村山浅間神社と富士登拝」などの伝承や民話の語りは、富士宮市の地域計画で推奨されている。富士山本宮浅間大社や山宮浅間神社、人穴富士講遺跡など富士宮市の文化財をテーマにした作品も多い。市の行事への協力をはじめ、文化、福祉、環境に関する研修にも積極的に参加している。平成22年度には、男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒賞を受賞した。
掛川市	R7-05-084	大須賀郷土研究会	掛川市横須賀	S56.1.24	大須賀地区の歴史、文化、民俗、文化財に関する講演会や、名所旧跡のフィールドワークを毎年実施している。また、NHK大河ドラマなど流行のものをテーマにした研究成果の紹介を行うほか、月2回の古文書講座（例：「惣町庄屋御用留」の解説）を開催している。さらに、展示会やイベント情報を提供し、グループLINEを活用した情報共有も行っている。加えて、大須賀地区の歴史や文化に関連する資料をパネル形式で展示する活動も展開している。
磐田市	R7-06-085	とよおか学び舎	磐田市敷地	R4.7.26	豊岡中央・東交流センターを拠点に毎年学習会や講座、見学会、さらに夏休みの子供向けイベントなど、多彩な活動を展開している。地区では、山城跡のパンフレット配布や、大河ドラマ「どうする家康」に関連する企画を通じて、地域住民の郷土愛を醸成している。特に地元文化財に関する講演会は毎年100名近くの参加者を集め、地域の歴史への関心を高めている。また、岩室伝存仏像群の展示を行い、その文化財の価値を伝えている。
浜松市	R7-07-086	NPO法人 わたぼうしグラッドデザイン	浜松市中央区篠原町	法人格認証 R4.3.1 (H27.4.1)	勝坂神楽や川名のひよんどりの舞に参加し、文化財の保存活動に関わっている。主な活動として、教育機関やイベントにおける体験教室やスクール事業を実施している。また、文化財のデジタル化や教育コンテンツの開発にも取り組んでいる。さらに、一般社団法人College Impact Japanと密接に連携し、若者にとって難易度の高い業務についてはサポートを受けている。「浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会」の一団体として加盟している。
浜松市	R7-08-087	一般社団法人 College Impact Japan	浜松市中央区布橋	法人格認証 R3.12.6 (H28.10.1)	少子高齢化に伴う伝統芸能の担い手不足という課題に対し、大学生や若者の地域参画を促進し、伝統の継承活動を支援している。また、経営学や教育学の専門家で構成された法人として、学術的知見を活かし、次世代リーダー育成や社会起業を多面的に支援している。さらに、NPO法人わたぼうしグラッドデザインと密接に連携し、川名のひよんどりと勝坂神楽の継承活動を支援している。「浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会」の一団体として加盟している。